

令和8年度 第1回浜松市ユニバーサルデザイン審議会

日 時 令和8年9月4日(金)午前10時00分～

会 場 浜松市役所 本館8階 第3委員会室

次 第

- 1 開 会
- 2 UD・男女共同参画課長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 新任委員委嘱
- 5 委員自己紹介
- 6 事務局職員自己紹介
- 7 議 事
 - (1) 令和8年度 UD・男女共同参画課 主要事業について【資料1】
 - (2) 第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画（U・ゆうプランⅢ）
第1期推進計画進捗状況（令和7年度実績）について【資料2】
 - (3) 第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画（U・ゆうプランⅢ）
第2期推進計画の策定について【資料3】
- 8 そ の 他
- 9 閉 会

令和8年度 浜松市ユニバーサルデザイン審議会 委員名簿

役職	氏 名	所属・役職	備考
会長	藤井 尚子	静岡文化芸術大学 デザイン学部長	
副会長	神谷 紀彦	浜松市教育委員会 教育委員	
委員	鈴木 篤人	遠州鉄道株式会社 運輸事業部長	
委員	鈴木 ヒエン	公益財団法人 浜松国際交流協会	
委員	鈴木 壘	浜松未来総合専門学校 教務課長	
委員	中尾 有希子	一般社団法人 静岡県建築士事務所協会 副会長	
委員	平井 明樹夫	NPO法人 浜松NPOネットワークセンター ICTアドバイザー	
委員	村松 千香子	認定NPO法人 はままつ子育てネットワークぴっぴ 理事	
委員	矢島 利充	浜松市障害保健福祉施策連絡会	

(順不同)

令和8年度 UD・男女共同参画課 主要事業

1. UD人材育成

▶主に「子ども」向け

(1) UD学習支援事業

事業概要：主に小・中学校や団体に対し、様々な学習機会を提供することで、UDへの理解を深めてもらうもの。

①UD学習資料配布

市内の小学4年生全員に資料を配布、中学生には電子書籍を提供



②UD出前講座

市職員が行うUDの基礎講座



③体験型UD施設学習

UD学習支援ガイドの案内によるアクト通りのUD施設見学



④デジタル教材を活用した学習

- ・ はままつユニバーサルデザイン入門編動画（YouTube でも視聴可能）



- ・ UD体感デジタル教材

アクト通りのUD施設見学をWeb上で体感できるデジタル教材を、浜松未来総合専門学校との協働により開発中（令和8年11月 公開開始予定）

⑤UD講師派遣プログラム

- ・ 見て！さわって！楽しくUD体験
講師：はままつUD市民リーダークラブ
- ・ 朗読をともに楽しむ心のユニバーサルデザイン
講師：かたつむりの会
- ・ やさしい日本語で外国人と仲良くなろう！
講師：NPO法人フィリピンナガイサ
- ・ ピクトグラムのひみつ～楽しくピクトグラムを学ぼう～
講師：UD学習支援ガイドまたはUD・男女共同参画課



⑥企業のUD出前講座（13社）

市内企業の経営者や担当者から、施設やものづくり、サービス提供へのUD導入に対する考え方や様々な立場の人への配慮などについて学ぶ。

1	電車・バスのユニバーサルデザインについて				
	講師	遠州鉄道(株)	対象	○:小学生	○:中学生 —:高校生
2	ユニバーサル農業 ～農業はもっと面白い産業になる～				
	講師	京丸園(株)	対象	○:小学生	○:中学生 ○:高校生
3	ホテルのユニバーサルデザインと社会が支えるべき人々へのサービス				
	講師	(株)呉竹荘	対象	○:小学生	○:中学生 ○:高校生
4	ガスのユニバーサルデザイン				
	講師	サーラエナジー(株)	対象	○:小学生	○:中学生 —:高校生
5	みんなが見やすく使いやすいメディアユニバーサルデザイン				
	講師	杉山メディアサポート(株)	対象	○:小学生	○:中学生 —:高校生
6	ユニバーサルデザインで私たちにできること ～暮らしやすい家づくり～				
	講師	(有)タイキなぐらし	対象	○:小学生	○:中学生 ○:高校生
7	みんなが使うやさしいトイレを考えよう！				
	講師	TOTO(株)浜松営業所	対象	○:小学生	○:中学生 —:高校生
8	高速道路のユニバーサルデザイン ～人にやさしいトイレづくり				
	講師	中日本高速道路(株)	対象	○:小学生	○:中学生 ○:高校生
9	超軽量 車いすで世界に挑戦！				
	講師	橋本エンジニアリング(株)	対象	○:小学生	○:中学生 —:高校生
10	エネルギーの地産地消				
	講師	(株)浜松新電力	対象	○:小学生	○:中学生 ○:高校生
11	宿泊施設におけるユニバーサルの推進「心のバリアフリー」				
	講師	(株)ヤタロー 地域共創事業部	対象	○:小学生	○:中学生 ○:高校生
12	テレビゲームのユニバーサルデザインの進化				
	講師	ヤマハ(株)	対象	○:小学生	○:中学生 ○:高校生
13	夢を追いかけて ～誰もが笑顔で食事を～				
	講師	レストラン食楽工房	対象	○:小学生	○:中学生 ○:高校生



▶「市民」向け

(2) UD学習支援ガイド養成事業

事業概要：UDを主体的に行動できるようにするための意識の醸成を図り、さらにUD学習支援を担うことができる市民ガイドを養成し、UDの推進を図るもの。

《市民ガイド育成の流れ》

①ユニバーサルマナーセミナー（初級編）

開催日：令和8年5月17日（日） 参加者22人

事業概要：「人と人との違いを学ぶ」「どんな人がどんなことに困っているのかを考える」「代表的な声かけ方法」など基本的な内容に加え、多様な方々の心理状況を考えるワークを行い多様な方々と向き合うための心の醸成と行動できる人材育成を図るもの。

内容：(株)ミライロによるユニバーサルマナー検定3級取得講座を実施
※検定料は無料



初級修了者

②UD実践セミナー（中級編）

開催日：令和8年8月2日（日） 参加者9人

事業概要：ユニバーサルマナーセミナーにて検定3級を取得した方を対象に、本市のUDの推進を図るための実践リーダーの育成を図る。

内容：UD施設現場での実地体験を通して、多様性（障がい者、高齢者、外国人、性的マイノリティ、発達・知的・精神障がい者等）への対応について具体的に学ぶ。



ガイドとして活動を希望する方

③UD学習支援ガイド養成講座

事業概要：市民協働によるUDの推進を図るため、UD学習支援ガイドの登録を希望する方に対する養成講座を開催。

内容：UD学習支援ガイドとして行ってもらいたい講座について具体的に学ぶ。



「UD学習支援ガイド」に登録

▶「職員」向け

(3) 新規採用職員に対するユニバーサルデザイン研修

事業概要：令和8年度採用の教職員と市役所職員にUDの理解を深めるための基礎研修を実施するもの。

◆教職員初任者研修（令和8年9月以降、動画視聴）

◆新規採用職員フォローアップ研修（令和9年1月予定）

(4) 職員に対するユニバーサルサービス研修

開催日：令和8年6月30日（火）

会場：浜松市市民協働センター 研修室ほか

参加人数：29人

内容：ユニバーサルサービスの考え方、窓口対応での事例紹介、お客さまの特性に応じた接客、車いす体験、高齢者体験、アイマスク・ガイドヘルプ体験

2. 周知・啓発

(1) はままつユニバーサルデザイン週間

事業概要：平成22年10月30日～11月3日に開催された「第3回国際ユニバーサルデザイン会議2010 in はままつ」と浜松市出身の石川倉次氏による「日本点字の制定(11/1)」を記念し、11月1日を含む週を「はままつユニバーサルデザイン週間」と定め、市民に対しUDの浸透を図るための啓発事業等を行うもの。

内容：令和8年10月26日（月）～10月30日（金）
UDパネル展（市役所1階ロビー）を実施予定

(2) わくわく発見！UDレポートコンテスト（パンフレット参照）

事業概要：家庭や地域で発見したUDについてまとめたレポートを募るコンテストを開催する。レポートは、小学生の部、中学生の部、一般の部に分け募集し、子どもから大人までが参加できることで、広く市民に周知し浸透を図る。

募集期間：令和8年7月16日（木）～11月30日（月）

(3) 地域のUDふれあい事業

事業概要：市内全域でのUD推進を図るため、市内各地域においてUD関連事業を実施するもの。

内 容：各区及び各行政センターが啓発事業を実施

主催者	実施期間	内 容	会 場
東行政センター	7/21～7/31	ユニバーサルデザイン製品展	東行政センター1 階市民ホール
西行政センター	11/7～11/8	ユニバーサルデザイン展	篠原協働センター
西行政センター	11/29	ユニバーサルデザイン展	庄内協働センター
南行政センター	11/12～11/25	ユニバーサルデザイン展示会	南行政センター1 階市民ホール
浜名区	10/14～10/22	ユニバーサルデザイン製品展	なゆた・浜北1階市民プラザ
北行政センター	7/17～8/27	ユニバーサルデザイン展	細江図書館
天竜区	7/23～8/3	ユニバーサルデザイン展	天竜区役所 1 階市民ホール

3. 協働事業

(1) UD提案事業（地域団体との協働事業）

事業概要：誰もが暮らしやすいまちづくりを実現するために、UDの視点を取り入れた市民や事業者の主体的な事業提案を募集し、選考の結果採択された提案について市が提案者に事業を委託するもの。

1 事業 30 万円以内 2 事業程度募集

《テーマ》

- ◆事業所にUDの意義を伝えることを目的とする事業
- ◆ICTを活用して市内の小中学生がUDを楽しく学べる事業
- ◆誰にでもわかりやすく情報を伝達すること（ピクトグラムや指差しシート等）の普及・啓発を目的とする事業
- ◆「共生社会」の実現に向けた意識の醸成や多様性理解を目的とする事業

《R8 採択事業》

採択事業名	委託先
親子ユニバーサルデザイン体験教室	はままつUD市民リーダークラブ
「多様な性への理解を深め行動するためのハンドブック」の作成	浜松パートナーシップ連絡会

(2) UD絵本ワークショップ（大学との協働事業）

開催日：令和8年7月19日（土）

事業概要：静岡文化芸術大学と協働で、UDへの関心を持つきっかけづくりとして、身体的・知的特性や年齢、性別、国籍などの違いを超えて誰もが一緒に楽しめる工夫がされたUD絵本を制作するワークショップを開催するもの。

会場：静岡文化芸術大学 自由創造工房

参加者：21人（9組 未就学児2人、小学生8人、中学生1人、大人2人、同伴者8人）

講師：静岡文化芸術大学 文化政策学部 教授 林 左和子 氏

静岡文化芸術大学 デザイン学部 教授 小浜 朋子 氏

協力：静岡文化芸術大学 学生 15人

4. その他

(1) 【臨時】パートナーシップ宣誓制度の拡充

事業概要：令和2年4月に静岡県内で初めてパートナーシップ宣誓制度を導入したが、制度の拡充を求める意見等にこたえるため、取り扱いに関する要綱の見直しを行う。

検討内容：ファミリーシップ制度への拡充
対面以外（Zoom等）の宣誓方法の導入

《拡充に関する意見交換会》

開催日時：令和8年9月7日（月）19時～20時30分

会場：浜松市役所 北館 101・102 会議室

参加者：パートナーシップ宣誓制度やファミリーシップ制度に関心がある人

内容：制度拡充の検討事項について説明、意見交換
（検討事項）

①ファミリーシップ宣誓制度の導入

②オンライン宣誓の導入

③自治体間連携ネットワークへの加入

第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画 第2期推進計画の策定について

1 概要

- ・第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画（U・ゆうプランⅢ）は、令和4（2022）年度から令和13（2031）年度の10年計画であるが、5年ごとの2期に分け推進している。
- ・第1期推進計画が令和8年度に期間満了となることから、令和7年度実施の市民UD意識調査の結果等を踏まえ、必要な修正を加えた第2期推進計画を策定する。

基本計画	U・優プラン		U・優プランⅡ		U・ゆうプランⅢ	
	2002年度～2011年度		2012年度～2021年度		2022年度～2031年度	
推進計画	第1期推進計画	第2期推進計画	第1期推進計画	第2期推進計画	第1期推進計画	第2期推進計画
	2002～2006	2007～2011	2012～2016	2017～2021	2022～2026	2027～2031

2 策定スケジュール

令和7年11月	令和7年度ユニバーサルデザイン意識調査
令和8年4月	U・ゆうプランⅢ第1期推進計画の令和7年度進捗状況各課調査
7月	U・ゆうプランⅢ第2期推進計画策定に伴うUD関連事業調査
9月	第2期推進計画策定に向けた各課調整
11月	第2期推進計画 素案をUD審議会にて審議
令和9年2月	第2期推進計画 最終案をUD審議会にて審議
4月	U・ゆうプランⅢ第2期推進計画 施行

3 第2期推進計画策定のポイント

U・ゆうプランⅢとして基本計画（10年計画）で定めた基本理念や基本目標等の計画の構成（柱建て）については、原則維持することとし、次の内容について必要な修正等を加える。

- ①第1期推進計画に掲載した事業の取組状況と令和7年度UD意識調査の結果をもとに課題等を抽出し、対応する事業について推進事業に追加・修正
- ②第2期推進計画の指標について、令和7年度UD意識調査で把握した結果を踏まえ、5年後（令和12年度意識調査）の目標値を設定
- ③第2期推進計画に掲載する推進事業から重点事業を設定

4 基本目標別 現状分析

基本目標 ひと「主体的に実践できる人」

■令和7年度ユニバーサルデザイン意識調査について

指標	R2 調査	R7 調査	前回比	R7 目標	目標比
UDという言葉の理解度(問1)	51.5%	55.3%	+3.8	60.0%	-4.7
思いやりのある行動をしている人の割合(問4)	65.7%	70.6%	+4.9	80.0%	-9.4
事業所のUD理解度(事業所問1)	51.7%	71.9%	+20.2	60.0%	+11.9

R2調査との比較では、「UDという言葉の理解度」は3.8ポイント、「思いやりのある行動をしている人」は4.9ポイント、それぞれ上回ったがR7目標には到達していない。

「事業所のUD理解度」については、前回調査より20.2ポイント、R7目標に対し11.9ポイント上回る結果となった。

■U・ゆうプランⅢ第1期推進計画における進捗状況について

基本計画			第1期推進計画					
基本目標	基本方針	基本施策	No	推進事業	進捗状況			
					R4	R5	R6	R7
Ⅰ　ひと 主体的に実践 できる “人”	(1)多様性を理解し、 認め合うことができる人	①誰もが活躍できる 社会	1	企業伴走型障害者雇用推進事業	○	○	○	○
			2	パートナーシップ宣誓制度	◎	◎	◎	◎
			3	多様性理解のための教育	○	○	○	○
			4	福祉体験講座	◎	◎	◎	◎
			5	バラスポーツの理解と啓発	△	○	△	○
		②多様な人との交流	6	共生・共育推進事業	○	○	○	○
			7	世代間交流事業	○	◎	◎	◎
			8	外国人学習支援センター事業	◎	◎	◎	◎
	(2)主体的に行動、実 践できる人	①UDの深化・定着	9	UD学習支援事業	◎	◎	◎	◎
			10	UD教材開発事業　＜重点事業＞	◎	◎	◎	◎
			11	教職員UD研修	◎	◎	◎	◎
			12	職員へのUD推進	◎	◎	◎	◎
			13	はままつUD週間	◎	◎	◎	◎
			14	市民へのUD啓発	◎	◎	◎	◎
			15	事業者へのUD啓発	◎	◎	○	◎
			②UDの行動・実践	16	みんなで広める！UD提案事業	◎	◎	◎
		17		大学等との協働事業	◎	◎	◎	◎
		18		市民リーダーの養成と協働	◎	◎	◎	◎
		19		ユニバーサル農業の推進	◎	◎	◎	◎

【達成基準】◎：計画どおり達成(達成率100%) ○：概ね達成(達成率70%以上) △：一部実施(達成率70%未満) ×：未実施(実施出なかった) —：事業完了、事業廃止等

概ね計画どおりに進捗している事業が多いものの、障害者における社会参画や交流を促進する事業において、達成度の向上がみられない事業がある。

■第2期推進計画策定に向けての基本的な考え方

- ・市民、事業者ともにUDについての理解は進んでおり、引き続き普及啓発に取り組んでいく。
- ・推進事業の中で達成度の向上がみられない障害者の社会参画や交流等を促進する事業について、実施状況等を確認する。
- ・達成度の高い「UDの深化・定着」及び「UDの行動・実践」についても、人づくりは本計画においても根幹であることから、引き続きUD啓発を担う人材の確保とともに、そのレベルアップを促していく。

基本目標 こと「誰一人取り残さない“仕組み”」

■令和7年度ユニバーサルデザイン意識調査について

指標	R2 調査	R7 調査	前回比	R7 目標	目標比
誰もが就業できる機会が確保されていると感じる人の割合(問7)	34.1%	38.4%	+4.3	40.0%	-1.6
誰もが文化、スポーツ活動などに参画できる機会が確保できていると感じる割合(問8)	46.9%	45.0%	-1.9	50.0%	-5.0
事業を営む上でUDを取り入れている事業所の割合(事業所問3)	22.7%	34.0%	+11.3	30.0%	+4.0

R2 調査との比較では、「誰もが就業できる機会が確保されていると感じる人の割合」は4.3ポイント上昇したものの目標には達していない。「誰もが文化、スポーツ活動などに参画できる機会が確保されていると感じる人の割合」は-1.9ポイント下回った。「事業を営む上でUDを取り入れている事業所の割合」は11.3ポイント上回り、目標に対しても4.0ポイント上回る結果となった。

■U・ゆうプランⅢ第1期推進計画における進捗状況について

基本計画			第1期推進計画					
基本目標	基本方針	基本施策	No	推進事業	進捗状況			
					R4	R5	R6	R7
Ⅱ こと 誰一人取り残さない “仕組み”	(1) 自らの考えで選択し、社会参加できる仕組み	① 誰にでも伝わる情報発信	20	多言語生活情報サイト「カナルハママツ」	◎	◎	◎	○
			21	市政情報のUD化	◎	◎	◎	◎
			22	防災情報のUD化	◎	◎	◎	◎
			23	地域のUD情報等発信	◎	◎	◎	◎
			24	ICTを活用したUD情報発信事業	◎	◎	◎	◎
			25	子育て情報発信事業	◎	◎	◎	○
		② 誰もが社会参画できる環境整備	26	シルバー人材センター支援	◎	◎	◎	◎
			27	障害者就労支援事業	◎	◎	◎	◎
			28	高齢者就労環境整備事業	◎	◎	◎	◎
			29	女性就労支援事業	◎	◎	◎	◎
			30	一人一人の状況に応じた多様で柔軟な教育の充実	◎	○	○	○
			31	ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証事業	○	○	○	○
			32	多文化共生センター事業	◎	◎	◎	◎
			33	誰もが音楽に親しむ機会の提供	◎	◎	◎	◎
	34	ユニバーサルツーリズム受入環境整備	◎	◎	◎	◎		
	(2) いつでも、どこでも、誰でもつながる仕組み	① 新しいつながりの創出	35	デジタルデバイトの解消	◎	◎	◎	◎
			36	電子図書の推進	◎	◎	◎	◎
			37	自治会活動の発信と参画促進	◎	◎	◎	◎
			38	市内間交流事業	◎	◎	◎	◎
			39	やさしい日本語の活用推進	◎	◎	◎	◎
		② 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり	40	行政手続きのオンライン化の推進	△	○	○	◎
			41	ICTを活用したコミュニケーション支援 <重点事業>	◎	◎	◎	◎
			42	消防情報通信ネットワーク事業	◎	◎	◎	◎
			43	緊急通報の円滑な対応	◎	◎	◎	◎

【達成基準】◎:計画どおり達成(達成率100%) ○:概ね達成(達成率70%以上) △:一部実施(達成率70%未満) ×:未実施(実施しなかった) —:事業完了、事業廃止等

計画どおり進捗している事業が多い。概ね達成が続く「No.30 一人一人の状況に応じた多様で柔軟な教育の充実」、「No.31 ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証事業」についても、毎年度、実施率、認証事業所数は増加傾向にある。

基本施策「誰にでも伝わる情報発信」において達成度が下がった2事業は、情報の検索時にAIによる概要表示がされることで、各サイトのアクセス数が減少した結果と思われる。

■第2期推進計画策定に向けての基本的な考え方

- ・文化、スポーツ活動などへの参画機会の確保状況については、前回の意識調査よりも数値が下回っていることから、取組の強化を検討する。
- ・事業所においては、UDの必要性や効果について理解が進んでいることから、引き続き啓発を行っていく。

基本目標 くらし「未来まで続く安全・安心な“まち”」

令和7年度ユニバーサルデザイン意識調査について

指標	R2 調査	R7 調査	前回比	R7 目標	目標比
公共交通機関が利用しやすいと感じる人の割合(問15)	56.1%	50.7%	-5.4	60.0%	-9.3
自分の住む地域の歩道が利用しやすいと感じる人の割合(問16)	41.4%	36.0%	-5.4	50.0%	-14.0
防災・防犯の面でみんなが安全・安心に暮らせる地域と感じる人の割合(問20)	54.3%	47.2%	-7.1	70.0%	-22.8

R2 調査との比較では、「公共交通機関が利用しやすいと感じる人の割合」は-5.4 ポイント、「自分の住む地域の歩道が利用しやすいと感じる人の割合」は-5.4 ポイント、「防災・防犯の面でみんなが安全・安心に暮らせる地域と感じる人の割合」は-7.1 ポイントとそれぞれ前回の調査を下回る結果となった。

U・ゆうプランⅢ第1期推進計画における進捗状況について

基本計画			第1期推進計画						
基本目標	基本方針	基本施策	No	推進事業	進捗状況				
					R4	R5	R6	R7	
Ⅲ くらし 未来まで続く 安全・安心な “まち”	(1)安全・安心かつ自由 に移動できるまち	①誰もが利用できる 交通環境	44	民間交通事業者UD化支援	◎	◎	◎	◎	
			45	浜松自動運転やらまいかプロジェクト	○	○	○	○	
			46	地域バス・自主運行バスの運行	◎	◎	◎	◎	
			47	共助型地域交通等推進モデル事業	◎	◎	◎	◎	
		②誰もが暮らしやすい 面的な生活空間の整備	48	わかりやすい案内サインの設置	○	○	◎	◎	
			49	ピクトグラムの周知啓発	◎	◎	◎	◎	
			50	八幡駅周辺バリアフリー化 <重点事業>	◎	△	◎	◎	
			51	公共建築物等のUD化推進	◎	◎	○	○	
	(2)いつまでも続く快適 なくらし	①誰もが利用できる 施設整備	52	公園のUD化推進	◎	◎	◎	◎	
			53	スポーツ施設のUD化推進	◎	◎	◎	◎	
			54	協働センター等へのWi-Fi整備	◎	◎	◎	◎	
			55	公共建築物等のUD化推進(再掲)	◎	◎	○	○	
		②施設の適正な維持 管理	56	浜松駅周辺のUD化道路施設の維持管理	○	○	◎	◎	

【達成基準】◎:計画どおり達成(達成率100%) ○:概ね達成(達成率70%以上) △:一部実施(達成率70%未満) ×:未実施(実施できなかった) —:事業完了、事業廃止等

概ね計画どおりに進捗しているが「誰にでも利用できる交通環境」、「誰もが利用できる施設整備」において達成が向上しない事業がある。

概ね達成が続く「No.45 浜松自動運転やらまいかプロジェクト」については、実証実験や導入に向けた検討会など実用化に向けた検証等が続けられている。

また、概ね達成の「No.51 (No.55) 公共建築物等のUD化推進」については、年度毎の目標値(UD度)には達していないものの整備した施設のUD度は毎年度上昇しており、公共施設のUD化は進んでいる。

第2期推進計画策定に向けての基本的な考え方

- 3つの指標ともに前回調査を下回る結果であることから、市民が公共交通機関の利便性、歩道の整備状況、防災・防犯面において不安を感じていることから、取組の強化を検討する。
- 公共施設のUD化による利便性の向上については、引き続き事業の充実を図る。



見て！ふれて！発見がいっぱい！

ユニバーサルデザイン

参加費無料

夏休み親子UD企業探検

夏休みに浜松市にある企業を訪れて、UDの探検をしよう！

ユニバーサル農業の見学
定植・収穫等農業体験

申込はこちら

☆京丸園(株)

日 時：令和8年7月22日(水)
午前9時～11時(受付：午前8時45分～)

場 所：中央区飯田町1267の隣
京丸園 月の輪ファーム (駐車場有)

定 員：7組

2組4人参加

持ち物：筆記用具・水筒

※農作業の体験がありますので、
汚れても良い服装、くつで来てください。

申込締切：令和8年7月8日(水)

聖隷浜松病院内のUD探検
～院内をまわってUDを探そう～

申込はこちら

☆聖隷浜松病院

日 時：令和8年7月25日(土)
午前9時～10時15分(受付：午前8時45分～)

場 所：中央区住吉2-12-12 (有料駐車場有)
※認証済駐車券をお渡しします

定 員：10組

8組20人参加

持ち物：筆記用具・水筒 ※必ずマスクを着用

申込締切：令和8年7月10日(金)

※10時30分から聖隷浜松病院主催：市民公開講座
「みんなで健康ゼミ(こどものびょうきのおはなし)」へ
続けてご参加いただけます。

気づく・おもいやる・助け合う
ホテルで学ぶUD

申込はこちら

☆(株)呉竹荘

日 時：令和8年7月28日(火)
午後1時～2時30分(受付：午後12時45分～)

場 所：中央区旭町7-1
北の庭 THE KURETAKESO
(駐車場は近くのコインパーキングをご利用ください)

定 員：10組

15組36人参加

持ち物：筆記用具・水筒

申込締切：令和8年7月14日(火)

NEW

リハビリテーションセンター
のUDを探そう

申込はこちら

☆聖隷三方原病院

日 時：令和8年7月30日(木)
午後1時15分～3時(受付：午後1時～)

場 所：中央区三方原町3453 (無料駐車場有)
地域障害者総合リハビリテーションセンター(アリーナ)

定 員：5組(子供は1組2名様まで可)

5組12人参加

持ち物：筆記用具・水筒 ※必ずマスクを着用
アリーナ入場時の内履き用運動ぐつ又はスリッパ

申込締切：令和8年7月16日(木)

サービスエリアで
人にやさしいトイレ作り

申込はこちら

☆NEXCO中日本高速道路(株)

日 時：①令和8年7月31日(金)
午前10時30分～12時(受付：午前10時15分～)
①の申込締切：令和8年7月17日(金)

②令和8年8月5日(水)
午前10時30分～12時(受付：午前10時15分～)
②の申込締切：令和8年7月22日(水)

場 所：浜名区大平 NEOPASA浜松上りサービスエリア

定 員：各回 20組

①2組6人、②2組6人参加

持ち物：筆記用具・水筒

NEW

UDで暮らしやすい家づくり



申込はこちら

☆(有)タイキなくらし

日 時：令和8年8月6日(木)
午前10時～11時30分(受付：午前9時45分～)

場 所：浜松市内(当選者にお知らせします。)
(駐車場有)

定 員：3組

3組8人参加

持ち物：筆記用具・水筒

申込締切：令和8年7月23日(木)



浜松市 UD・男女共同参画課

誰もが笑顔で食事ができる 取り組みの紹介



☆レストラン 食楽工房

申込はこちら

日 時：①令和8年8月3日（月）
午前9時30分～11時（受付：午前9時15分～）
①の申込締切：令和8年7月21日（火）

②令和8年8月18日（火）
午前9時30分～11時（受付：午前9時15分～）
②の申込締切：令和8年8月4日（火）

場 所：浜名区細江町気賀2551-203（駐車場有）

定 員：各回 10組

持ち物：筆記用具・水筒

①5組15人、②6組14人参加

国民宿舎で学ぶ心のバリアフリー



☆(株)ヤタロー

申込はこちら

日 時：令和8年8月4日（火）
午前10時～11時30分（受付：午前9時45分～）

場 所：浜名区細江町気賀1023-1（駐車場有）
国民宿舎 奥浜名湖

定 員：10組

7組16人参加

持ち物：筆記用具・水筒

申込締切：令和8年7月21日（火）

高齢者施設に必要なUD について学ぼう



☆浜名湖エデンの園

申込はこちら

日 時：令和8年8月4日（火）
午後1時30分～3時（受付：午後1時15分～）

場 所：浜名区細江町中川7220-99（駐車場有）

定 員：5組

5組11人参加

持ち物：筆記用具・水筒・タオル ※必ずマスクを着用

申込締切：令和8年7月21日（火）

みんなが使うやさしい トイレを体験しよう



☆TOTO(株)

申込はこちら

日 時：令和8年8月26日（水）
午前10時～11時30分（受付：午前9時45分～）

場 所：中央区宮竹町182-1（駐車場有）
TOTOショールーム

定 員：10組

5組12人参加

持ち物：筆記用具・水筒

申込締切：令和8年8月12日（水）

申込について

夏休みの宿題に
もってこいなのだじゃ！



出世大名 家康くん

申込対象：小学4年生～6年生とその保護者

申込開始：6月15日（月） 9時から

10企業12回の開催で
65組160人が参加

申込方法：受講したい各講座の右上にあるQRコードから申し込みください。

そ の 他：※各自で企業へ直接訪問していただきます。

※定員を上回った場合は、抽選となります。

※参加の可否は、各締切日から5日以内にメールで連絡します。

詳しくは、市HPまで

夏休み親子UD企業探検



検索

問合せ先

浜松市 UD・男女共同参画課

〒430-8652 浜松市中央区元城町103-2
電話：053-457-2364 FAX：053-457-2750
Eメール：ud@city.hamamatsu.shizuoka.jp



ニバリ君

令和 8 年度第 1 回浜松市ユニバーサルデザイン審議会
事前質問票

お名前	平井明樹夫
-----	-------

資料 番号	ページ 番号	項目等	質問内容	回答
1	7	(1)【臨時】パートナーシップ宣誓制度の拡充	パートナーシップ宣誓制度の拡充について伺います。私は制度には不案内ですが、多様性を包摂するうえで重要な仕組みだと感じています。今回、制度の拡充を求める声があったとのことですが、 具体的にどのようなニーズや課題が利用者や関係団体から寄せられていたのか 、簡潔にご説明いただければと思います。	【UD・男女共同参画課】 本市のパートナーシップ宣誓制度は、令和 2 年 4 月に県内で最初に運用を開始しました。本市制度は、パートナーシップを結ぶ二者の関係を宣誓するものですが、後発で制度を導入した自治体の中には、パートナーシップの関係にある者の子どもや親などの近親者の関係性を宣誓するファミリーシップの考えを取り入れている自治体も増えています。令和 8 年 2 月に実施した「パートナーシップ宣誓制度 5 周年パネルディスカッション」においても関係団体から、本市制度にもファミリーシップの考えを取り入れてほしいとの要望が寄せられています。
2	3	No6 共生共育推進事業	共生・共育推進事業について伺います。特別支援学校との交流は受け入れに際して体調や環境についての調整や整備で大変な事業だと思います。その意味で目標が「申請があった学校との交流を 100%実施する」は意味があると思います。ただ、 特別支援学校の母数に対してどれだけ申請があったのか 、つまり「申請率」も重要ではないかと考えています。 交流の意義をどのように説明し、申請を促すための働きかけや手段を検討しているのか、また、 母数に対する評価や課題認識がどのようになっているのか 、ご説明いただければと思います。	【教育支援課】 就学ガイダンスの際に保護者へ「交流及び共同学習」について説明し、「希望される方は入学後、在籍する特別支援学校へ相談してください。」とアナウンスしています。その後、交流の意義や働きかけは特別支援学校が行っているため、所管されている静岡県教育委員会が受け持っております。母数に対しての申請数や評価、課題認識については県教育委員会の事業であるため、本市では把握ができておりませんが、交流希望の申請があった際には、引き続き受け入れを行ってまいります。

資料 番号	ページ 番号	項目等	質問内容	回答
2	4	No9 UD 学習支援事業	UD 学習支援事業について伺います。 5 年間の目標が「計 500 件」とされていますが、実績を見ると毎年ほぼ横ばいにも見えます。そこで気になるのは、 受講先が固定化していないか、新たな受講先がどれだけ増えているのか という点です。事業の広がり进行评估するうえで、 新規受講先の割合や、これまで参加していなかった学校・団体への働きかけの状況 について、どのように把握し評価されているのか、ご説明いただければと思います。	【UD・男女共同参画課】 当事業の中で、令和 7 年度のUD出前講座実施校 56 校のうち、新規は 11 校で全体の約 20%でした。アクト通りUD施設見学は実施校 15 校のうち 8 校が新規校でした。 出前講座については、8 割が継続的に活用いただいている学校からの依頼ですが、受講児童は毎年変わっていますので、継続して支援する必要があると考えています。 周知については、学校内での引継ぎや次年度の指導計画を検討する学年末に、本市HPや教育委員会の「Tポート（学校用インターネット）」掲示板、全市小・中学校へメール送信を通じて各種学習支援事業のメニューを周知するとともに、年度途中においても適宜追加募集を案内するなど、新規校も含めて活用の働きかけを行っています。
	4	No10 UD 教材開発事業	UD 学習支援事業の「ニーズに応じたデジタル教材の提供」という目標について伺います。 令和 4 年度からバーチャル教材や動画など、さまざまなデジタル教材が開発・運用されていますが、これらは 実際の学校や現場からのニーズに基づくものなのか 、それとも行政側のシーズとして先行している部分があるのかが気になります。教材開発にあたり、 どのようなニーズ把握やフィードバックを行い、どのように反映してきたのか 、簡潔にご説明いただければと思います。	【UD・男女共同参画課】 令和 4～6 年度に提供していたデジタル教材では、「遊びながら楽しくUDが学べる」「子どもたちのUDへの関心が高まった」など好評をいただきました。その後継となる教材はよりリアルにアクト通りにあるUD施設を学べる内容で開発しています。 校外学習等でアクト通りを訪問する学校にはガイドによる学習支援を行っていますが、最近の異常気象等で校外学習の実施が難しい期間が増えています。また、現地を訪れることが難しい遠方の学校もあることから、まちなかのUD施設を見学できるデジタル教材を準備しており、UDを学びたい学校の希望によりデジタルと現地での学習を選択できるように努めてまいります。

資料 番号	ページ 番号	項目等	質問内容	回答
2	4	No11 教職員 UD 研修	毎年度、新任教職員に対する UD 研修を継続して実施されていることは、大きな意義があると感じています。 そこで確認ですが、研修の受講者数は、 毎年ほぼ浜松市の新任教職員の全数とみてよいのか 、その点についてご説明いただければと思います。	【教育センター】 全ての本市小・中学校の新任教職員を対象として令和 6 年度からはオンデマンドで研修を実施しており、対象者全員の受講を確認しています。
	5	No13 はままつUD週間	はままつ UD 週間は展示を通した UD の周知として継続されていて意味を持っていると思います。それをふまえたうえで私ははままつ UD 週間について一言提案があります。今年度のテーマとして「思いやりの心（察するところ）」と「心のユニバーサルデザイン」が挙げられていますが、 多様な人々をすべて察することは現実的には不可能だと考えています。 だからこそ、思いやりの心を育てるためには、 多様な人と直接対話する場を積極的に設けることが重要 ではないでしょうか。対話に不慣れな方も参加しやすいように、ファシリテーターを配置し、時間を区切った「 楽しく安心して参加できる体験型の対話の場 」をつくることを、UD 週間の新しい方向性として提案します。	【UD・男女共同参画課】 はままつUD週間は、平成 22 年 10 月 30 日～11 月 3 日に開催された「第 3 回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2010 in はままつ」と浜松市出身の石川倉次氏による「日本点字の制定(11/1)」を記念し、11 月 1 日を含む週を「はままつUD週間」と定め、市民に対し、はままつUD週間を周知することを主な目的として、パネル展示を行っています。 現時点では、UD 週間の啓発内容を変更する予定はありませんが、ご提案内容は今後の事業検討の際の参考にさせていただきます。
	5	No14 市民への UD 啓発	市民への UD 啓発について伺います。 ユニバーサルマナーセミナーの受講者数が実績として報告されていますが、その中に「UD 実践セミナー受講」という数字があります。市の Web サイトでは UD 実践セミナーの具体的な内容を見つけることができませんでしたので、このセミナーではどのような内容を扱っているのか、 簡単にご説明いただければ と思います。	【UD・男女共同参画課】 市民啓発のための講座として、本市では、「ユニバーサルマナーセミナー」を初級とし、それを終了した受講者を対象として中級講座として「UD 実践セミナー」を位置付けて開講しております。 「UD 実践セミナー」では、「マナーセミナー」で学んだことを基礎として、高齢者、知的障害者、外国人等、より細分化して対応を学ぶとともに、車いす体験やアイマスクと白杖を用いた視覚障害者体験など実践的な講習を通じて多様な人々に対する具体的な配慮等についてより深く学ぶ内容になっています。

資料 番号	ページ 番号	項目等	質問内容	回答
2	6	No25 子育て情報発信事業	子育て情報発信事業について伺います。 情報発信についての成果は大きく、インターネットの広がりを実感しています。一方で、目標欄に突然「KPI」という言葉が出てきましたが、意味が分かりにくいと感じました。この KPI は、 目標としてどのような意味を持ち、どのように活用されているのか 、簡単にご説明いただければと思います。	【こども若者政策課】 KPI とは、「重要業績評価指標」を意味し、子育て情報発信事業における子育て情報サイトの訪問者及び公式 LINE の友だち登録者の中長期的目標を達成するための指標として定めております。事業効果の確認や課題の確認などに活用しております。
	9	No27 障害者就労支援事業	障害者就労支援事業について伺います。 障害者を雇用する企業側に説明を行うことは、非常に意義のある事業だと感じています。ただ、企業の努力だけで就労が定着するのは現状では難しい面もあると思います。 たとえば（特非）浜松 NPO ネットワークセンターでは、ジョブコーチ事業として就労者本人への支援を行っていますが、 本市の就労支援事業において、ジョブコーチ的な支援や就労定着に向けた取り組みがどのように行われているのか 、簡単にご説明いただければと思います。	【労働政策課】 「浜松市障害者就労支援センターふらっと」では、障がいのある方の就労支援や職場定着に向けた相談支援を行うとともに、企業向けに障害者雇用を促進するためのセミナーを開催しています。 就労定着に向けた取組としては、就労に関する相談の段階から、本人の希望や特性等を踏まえて適切な企業とのマッチングを行うことで、就職後も長く働き続けられるよう支援しています。 また、就職後においても、本人や事業者からの相談に応じ、必要に応じて職場を訪問しています。本人と事業者双方から状況や困りごとを伺った上で、解決に向けた調整を行うなど、双方の間に入ったサポートを行っています。 さらに、専門的な支援が必要な場合には、国や県のジョブコーチによる派遣につなぐとともに、連携しながら、障がいのある方が安心して働き続けられるように支援しています。
	10	No32 多文化共生センター事業	多文化共生センター事業について伺います。 評価項目が満足度のみとなっていますが、 実際の相談件数や利用者数はどの程度なのか 、また、 その数値をどのように評価しているのか 、ご説明いただければと思います。	【国際課】 令和 7 年度の多文化共生センター事業の利用者数は 16,637 件となっています。そのうち、生活相談は 7,810 件あります。相談の多くは雇用・労働に関するものであり、主に就業にかかるものや企業への

資料 番号	ページ 番号	項目等	質問内容	回答
				支援制度などにかかるものです。近年は相談数自体が高止まりとなっております。特に、相談対応では社労士や行政書士など、内容に応じた適正な専門機関との連携等が利用者からも社会状況的にも求められており、質に関する評価が重要と捉えています。
2	11	No35 デジタルデバйдの解消	デジタルデバйдの解消について伺います。 私自身、この分野には強い関心があります。デジタル化を進めるうえで、市民の皆さんに習得していただきたい内容としてはおそらく、QR コードの扱い、ブラウザ操作、フォーム入力、場合によってはアプリのインストールなどが重要になると考えています。特に最近はログイン時の本人確認の手続きが複雑化しており、それを教えるようすると講座の難易度も高くなってしまうという心配もあります。 そこで、実施されている講座の1回あたりの時間数と、その効果に関する評価や課題認識について、教えていただければと思います	【創造都市・文化振興課】 講座の内容や回数につきましては、各協働センター等が地域の実情に合わせ計画・開講しています。1回 1 時間半～2 時間の複数回講座として、基本操作、写真の撮り方、アプリのインストール、LINE の使い方など初級編を中心に展開し、主に高齢者をターゲットとしています。市の講座としては、最低限の操作やスマホに触れてもらうという体験を広く提供することに重点を置いており、デジタルデバйдの解消に寄与しています。 一方でログイン時の本人確認等複雑な操作を取り入れたカリキュラムは限定的であるため、どのように取り入れていくかが課題です
	11	No37 自治会活動の発信と参画促進	自治会活動の発信と参画促進について伺います。 私自身、自治会の広報活動を 15 年以上続けてきた経験から、この事業の意義を強く感じています。一方で、自治会は ICT 化が非常に苦手な組織であり、情報発信のハードルが高いのが現状です。 そこで提案ですが、自治会連合会や社会福祉協議会の中央で大きな Web サイトを構築し、各自治会が情報発信できる場所を提供したり、必要なサポートを行う仕組みを作ることは可能でしょうか。こうした取り組みについて、何かお考えがあればお聞かせいただければと思います。	【市民協働・地域政策課】 市自治会連合会では専用ホームページにより情報発信を行っています。 本市においても、令和 8 年度に市公式ホームページ内に、自治会専用サイトを立ち上げ、自治会活動の意義や優良事例、補助金等行政情報等を一元発信により自治会運営を支援してまいります。 また、各自治会内の情報発信を支援するため、引き続き、ホームページ導入支援や LINE 活用講座等の自治会等 DX サポート事業を開催してまいります。

資料 番号	ページ 番号	項目等	質問内容	回答
2	12	No38 市内間交流事業	市内間交流事業について伺います。 市内のさまざまな場所で交流できるという事業は、大変評価できる取り組みだと感じています。ぜひ、シンポジウムや視聴できる企画だけでなく、実際に交流を体験できる場として継続していただきたいと思います。 また、今後はオンライン会議のように、現場同士が直接話し合える形式がますます重要になると考えています。こうした双方向の交流の場を積極的に取り入れていただければ、事業の価値がさらに高まるのではないかと思います。お考えがあればお聞かせください。	【中山間地域振興課】 令和7年度は、中山間地域で開催した「まちむら交流フォーラム」の中で、参加者同士が交流できるよう交流タイムを設けました。 令和8年度は、中山間地域へ関わる人をより幅広く創出するため、都市部での「まちむら交流フォーラム」を企画し、交流タイムを充実させた交流会を開催する予定です。
	12	No40 行政手続きのオンライン化の推進	行政手続きのオンライン化の推進について伺います。 オンライン化は非常に重要な取り組みだと考えています。しかし、離れた場所で本人が手続きを行うため、最も重要になるのが本人確認のプロセスです。現在、この本人確認の段階でつまずき、手続きを完了できない方が、特に高齢者や障害のある方々に多く見受けられます。 パソコンやスマートフォンには、デバイスを開くことができればログインできる「パスキー」という仕組みがあります。こうした仕組みを行政手続きにも積極的に取り入れることで、本人確認の負担を大きく減らし、オンライン化の推進につながると期待しています。取り組みがありましたらお聞かせください。	【デジタル・スマートシティ推進課】 これまでのユーザーからの意見では、マイナンバーカードによる個人認証に際して、複数のアプリの起動が必要であることやカード読込などの作業の複雑さに起因したつまずきや手間があるとの改善意見が多くありましたが、個人認証に必要であった「マイナポータルアプリ」と「デジタル認証アプリ」が本年8月に統合されたことに伴い、課題が解消されスムーズになることを見込んでいます。 パスキー（生体認証等）を活用した簡易なログインの仕組みは、操作の負担を減らす点で有用な一方、本市の電子申請では、個人情報の保護や成りすまし防止の観点から、制度上厳格な本人確認を要する手続きにおいてはマイナアプリによる本人確認を必要としているため、パスキー機能のみで本人確認を完了させることは困難です。 ただし、マイナアプリは、マイナンバーカードの電子証明書機能（スマホ用電子証明書）をスマートフォンに搭載することで、暗証番号のかわりに、端末の生体認証と紐づけてログインできるようになっ

資料 番号	ページ 番号	項目等	質問内容	回答
				ているなど、パスキーによる利便性を備えています。
2	12	No41 ICT を活用したコミュニケーション支援	ICT を活用したコミュニケーション支援について伺います。 タブレットを使用した多言語相談は定着してきているようで、非常に意義のある取り組みだと感じています。一方で、聴覚障害の方向けの手話通訳が事業内容に記載されなくなっている点が気になりました。先天性の聴覚障害の方の中には、文字情報の理解が難しい場合もあります。 現在は、タブレット上で手話を表示する技術も進んでいますので、取りこぼしのない支援のために、手話によるコミュニケーション支援をどのように位置づけているのか、お考えを伺えればと思います。	【障害者政策課】 本市では、平成 28 年 4 月に手話言語の推進に関する条例を施行し、手話が言語であるとの認識のもと、ろう者及びろう者以外の者が共生する地域社会の実現を目指しています。 具体的には、テレビ電話による手話通訳については、遠隔手話通訳サービスの契約を令和 4～5 年度の 2 年間実施していました。令和 6 年度についても契約予定（委託検討会議までは実施）でしたが、業者都合で契約に至りませんでした。他に実施可能な業者もいなかったため、現在テレビ電話による手話通訳は実施していませんが、窓口では UD トークを活用した対応をしています。 また、窓口には手話通訳可能な職員を配置しているほか、手話通訳者養成のために市民を対象として手話奉仕員を育成するための養成講座を開催しています。 講座：実技 40 回+講義 6 回＝全 46 回 昼の部：2 会場 夜の部：2 会場 定員：各 20 名（全 80 名）
	14	No49 ピクトグラムの周知啓発	ピクトグラムの周知啓発について伺います。 ピクトグラムや周囲の UD を発見するイベントは、継続する意義のある取り組みだと感じています。加えて、No48 との関連になりますが、ピクトグラムにナンバリングを付けることで地図との整合がとりやすくなり、より	【UD・男女共同参画課】 ナンバリングは高速道路路線や鉄道駅などの案内標識に導入され、訪日外国人をはじめとしたすべての利用者にわかりやすい案内の取り組みが進んでいます。ご提案のピクトグラムへのナンバリングについては、設置ルールの設定や地図情報との連動、

資料 番号	ページ 番号	項目等	質問内容	回答
			効果が高まるのではないかと感じました。ご意見が伺えればと思います。	設置コストに課題はありますが、分かりやすい案内のアイデアとして、今後の参考とさせていただきます。
2	15	No52 公園のUD化推進	公園のUD化推進について伺います。 トイレやベンチなどのバリアフリー化は非常に重要であり、今後も継続して取り組んでいただきたいと感じています。一方で、遊具については、最近「立ち入り禁止」の表示が見られることがあり、利用環境に課題があるようにも思われます。また、遊具のUD配慮は、利用する側の支援も含めて考える必要があると感じています。そこで、 遊具のUD化に関して、現在どのような具体的な取り組みや事例があるのか 、教えていただければ幸いです。	【公園課】 障害の有無を問わず、誰もが楽しめる遊具の整備については、次のような実績があります。 ・年度 令和3年度 ・公園名 西中瀬中央公園 ・導入遊具 サポート付ブランコ※¹ 1基 背もたれ付回転遊具※² 1基 高床式砂場※³ 1箇所 ※1 体を固定するサポート機能により、幼児でも体に不自由のある子どもでも安心して遊べるブランコ ※2 車いすから乗り降りしやすく、姿勢の保持が難しい子も高い背もたれによって安定して座れる回転遊具 ※3 車いすに乗ったまま遊ぶことができ、高低差のある2つの砂場で大きな子と小さな子が一緒に遊べる砂場
	16	No54 協働センター等へのWi-Fi整備	協働センター等へのWi-Fi整備について伺います。 Wi-Fi環境の整備は、会議室でのスクリーン表示やWeb会議の実施において不可欠な基盤だと感じています。さらに、昨今はAIの活用が急速に広がっており、データ通信量は今後ますます増加していくと考えられます。こうした状況を踏まえると、 協働センター等へのWi-Fi整備は、より積極的に進めていただきたい重要な取り組み だと感じています。今後の整備予定の施設数や、計画があれば教えてください。	【情報システム課】 本市の全協働センターに配備を完了しました。それを含め令和7年度末本市で配備を完了した施設は67施設です。 今後は、未整備の指定管理施設等については各所管課において当該利用者の要望等に基づき整備されるものと考えます。

資料 番号	ページ 番号	項目等	質問内容	回答
3	2	令和7年度ユニバーサルデザイン意識調査について	令和7年度ユニバーサルデザイン意識調査の概要について伺います。 資料3を見ると、年代別の集計値が入っているので、母数602件は少し少ない気がします。回答率40%として、2500名ほどに発送すると有効回答1000件ほどが見込まれると思いますので、検討をお願いしたいと思います。 年代別では40代までの回答率が全体の32%あまりなので、この意識調査はそれより上の年代の意識が比較的濃く反映されていることを考える必要があると思います。	【UD・男女共同参画課】 今回の市民に対する意識調査については、調査時点（10月1日）で18歳以上80歳未満の市民1500名を対象としており、602名（回答率は40.1%）から回答を得ています。 年代別の回答率については、分析する上での参考にさせていただきます。
	5	Ⅱこと 誰ひとり取り残さない“仕組み”	最後に意見を述べます。自らの考えで選択し、社会参加していくためには、次の3つがワンストップで満たされる仕組みが重要だと考えています。 (1) 安心してそこにいられる（来られる） (2) 安心して発言できる (3) その場で満足のいく結論や方針が得られる (1) (2) については、これまで取り組んできた事業に加え、安心して対話できる場を創出することで実現できると感じています。そして(3)については、AIを活用することで、必要なサービスを探し出し、連動させる仕組みが可能になってくると考えています。 こうした安心感の積み重ねが、これまで述べてきた「心のUD」につながり、 多様な人々と信頼関係を築くための基盤になると期待しています。	【UD・男女共同参画課】 ご意見については、推進計画策定の際の参考とさせていただきます。